

(様式第9号)

情報公開用文書

「本邦における子宮体癌に対する低侵襲手術(MIS)の実態調査」

1. 症例登録の目的と概略

子宮体癌は増加傾向にある癌であり、本邦では年間2万人の罹患が報告されています。子宮体癌の主治療は外科的切除ですが、本邦では2014年4月より再発低リスクの子宮体癌に対する腹腔鏡下手術が、2018年4月よりロボット支援下手術が保険適応になりました。しかし、現在の本邦における子宮体癌に対する低侵襲手術の実態については把握できていないのが現状です。本邦における子宮体癌に対する低侵襲手術の実態（実施数、手術適応、手術術式、腫瘍学的予後など）を後方視的に解析し、本邦の現状を把握することにより問題点を明らかにし、今後の子宮体癌に対する低侵襲手術のより適切で安全な普及を図ることが目的です。

2. 対象者・該当期間

2015年1月から2017年12月までの3年間に日本産婦人科学会腫瘍登録に登録した子宮体癌に対する低侵襲手術を受けた患者

3. 症例登録の方法

すでに登録されたデータベースから施設ごとに抽出されたデータファイルが各施設に送付されます。そのデータファイルに新たなデータを項目に従って入力し返送します。

4. 個人情報の保護

患者さんの手術・治療に関する情報は、個人を識別することができる情報を除き、その方と関わりのない符号をつけて入力します。但し、その新たにつけられた符号がどなたのものであったかを記した対応表を当院に残します。日産婦番号の対応表は当科で保管しますが、問い合わせなどの照会を含めすべてのデータ集積が終了した時点で破棄します。

5. 同意の取得と参加の拒否について

症例登録に際して、検査が追加されたり、治療が変更されたりするなど、診療自体に影響が出ることはありません。通常の診療で集められたデータを登録します。したがって、症例登録に際して患者さん個人から同意書を得ることはありませんが、患者さんが個別に登録事業への参加を拒否することは可能です。参加を拒否することを産婦人科の

担当医に伝えていただくと、その方の情報はデータベースに提供されません。今後の診療を受ける上で不利益が生じることはありません。

6. 問い合わせ・連絡先

この手術・治療情報登録についてご質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

徳島県立中央病院産婦人科

担当医師 前川正彦

連絡先（電話番号） 088-631-7151（平日 9 時～17 時）